

のうきよう ちゃんぽん



'96

4 No.256

のうきよう ちがしづ

積雪、凍結の消えぬ大地に
力強く伸び、花を咲かせた福寿草。
春の足音はもうそろそろやって来ているよ。



もくじ

- 3 ———— 〈私の趣味〉
陶芸で健康作りと生活を楽しむ
本俣地区 杉本桂子さん
- 4 ———— 根室管内酪農民代表者集会
- 5 ———— (有)ファム・エイホクレン夢大賞に輝く
- 6~7 ———— 〈営農技術〉
フリーストールと多頭化
- 8~9 ———— 平成8年度畜産物価格関連対策
- 10 ———— 〈輝く女性〉
いつでも「前向き」が大切
拓農 熊倉純子さん
- 11 ———— 〈組合長日誌〉
展望は夢と現実のぶつかり合い
- 12 ———— Jrホルスタインクラブ定期総会
- 13 ———— 牛のブルセラ病、結核病検査
- 14 ———— 地区別懇談会
- 15 ———— 理事会の経過
- 16 ———— 〈暮らしの知恵袋〉
美しい花壇で生活にうらおいを!!
- 18~19 ———— 今月のフォトアルバム
- 20 ———— 第3回景観フォーラム

私の趣味

53

(本俣地区) 杉本 桂子さん



焼き上がったばかりの作品を前に、今回の出来を見る杉本さん

陶芸で健康作りと生活を楽しむ

「窯の扉を開ける瞬間が何とも言えない気持ちなんです」と話す杉本桂子さん。陶芸を始めてから四年目になると言いますが、住宅横に作られた八坪の工房には、大きな窯と、ろくろ、棚には今まで作り上げた花瓶や壺、湯飲み、皿な

どが所狭しと並べられ、本格的な陶芸家のような様子。

杉本さんが陶芸を始めたのは、公民館で開かれた陶芸講座が切っ掛けで、最初に作ったのが湯飲み茶碗。初めはあまりおもしろいとは思わなかったようですが、講座

の基礎、初級、中級と移って行くうちに、陶芸の奥の深さにどんどんひかれて行ったと言います。

また、杉本さんは過去に三回もの手術を受けた大病を経験。その病が、また再発するかもしれないとの不安とストレスを解消するためにも、新たなものに取り組んでみようと思ったそうです。「粘土を練る時は、身体全体を使うので運動の変わりになるんです。特に指を多く使う事によって、肩凝りや首の疲れがなくなってしまう。私から言えば健康作りのためにも、陶芸をやっているといっても過言ではないのです」と話す杉本さん。

しかし、毎日のように作品を作っているのかというとそうでもなく、窯に火を入れるのは月に一回から二回くらい。でも熱中しだすと自分の気に入るまで何度も作り、寝る事も忘れてしまうとか。それでも本業である酪農の仕事に影響する事のないように、朝晩はかならず牛舎に行き、自分の担当する

仕事は休んだ事がないといいます。また、夫の匡視さんも陶芸には理解があり、今ある八坪の工房も匡視さんの手作りです。焼き上がった作品など「これは良く出来た。

目で見たものを
粘土で表現したい



ここはもっと、こうしたら良くなる」など色々講評してくれるそうで、陶芸の作品展などがある時は、二人で出かける事も多いとの事。「先の事はわからないが、今は、家庭の中で使えるものを考えながら作り、生活の中で楽しむ事と、健康作りの素として充実した毎日を過ごしたい」と話す杉本さんです。

根室管内酪農代表者集会



管内から約300人が参加し行なわれた代表者集会

**夢と希望の
所得確保をもてる**

札幌乳製品の
需要拡大対策と拡充強化しよう
希望もてる
あなたも
頑張ろう



**乳価「現行価格
堅持」を確認
根室管内酪農
代表者集会**

要求実現の願いを込める出席者

平成八年度の保証乳価・酪農畜産政策の要求実現に向けた、根室地区酪農対策協議会と根室の酪農を守る会主催による酪農代表者集会が三月五日、中標津町寿宴で開催されました。

集会には管内の酪農家ら約三百人が参加、現行乳価の堅持、二丁の酪農合理化特別対策の継続など、確かな将来展望と中長期的な

経営の安定を求めた要請項目を確認しました。

開会にあたり、主催者を代表してあいさつに立った根室地区酪農対策協議会の根穀勝久会長は、「増産し、規模拡大でコストダウンを求め、規模拡大でコストダウンを求め、要求実現に向け精神的に中央運動を展開したい」と誓いました。

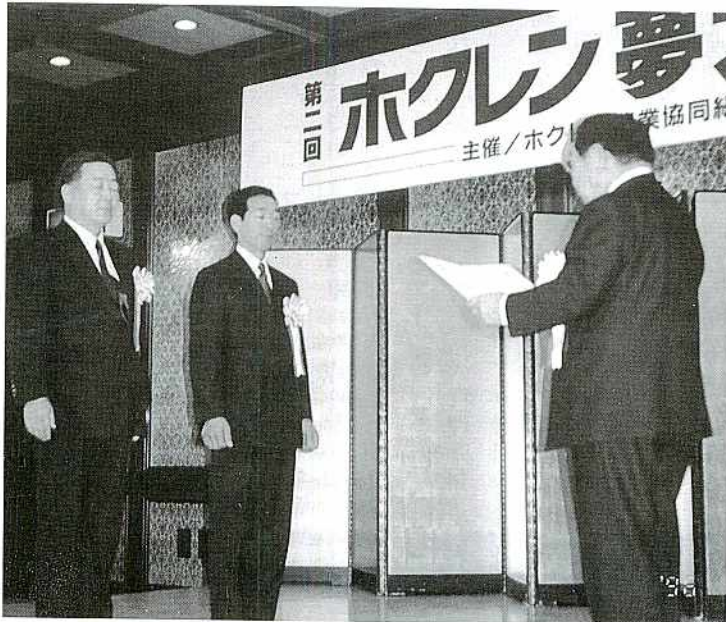
続いて情勢報告に立ったJA道中央会の谷口勝参事は、今年の乳価がWTO体制、酪肉近代化基本方針、乳業の国際化対応など自由化の流れの中で決定と分析し、「生産費試算は酪農家のコストダウン努力分であり、手取り乳価の現状維持は譲れない」と力を込めました。

大会では、酪農家を代表して、JA根室地区青年部連絡協議会の林義和会長が決意表明に立ち、「将来に向け確かな見通しの立たない酪農情勢に不満をもつ。今後、国際競争の中で生き残る体質強化が必要であり、生産者としても努力しなければならぬ」と農民に視点を当てた政策を要望しました。

ゆとりある酪農をサポート

ホクレン夢大賞に輝く

(有)ファム・エイ
ヘルパー事業で「夢と希望」を



表彰を受ける、左・ファム・エイ白井社長と、中央・長正路ヘルパー連絡協議会代表

北海道の農業・農村の担い手に「夢と希望」を与えようと、ホクレンが平成六年度創設した「ホクレン夢大賞」の農業応援部門で、中標

津町の(有)ファム・エイ(白井勝也社長)が大賞を受賞しました。

ホクレン夢大賞は、道農業・農村の担い手に、夢と希望を与える活動や、研究に対して贈られ、北海道地域農業の活性化をはかる事を目的に、今年で二回目の開催。

今年は農業者部門に十四件、研究普及部門に六件、農業応援部門に十六件の応募がありました。

今回、農業応援部門の大賞を受賞したファム・エイは、平成元年に民間会社として道内初の酪農ヘルパー組織として発足。現在中標津、計根別、上春別の三農協の酪農家約三百五十戸に労働力を提供し、農休日の定着化を図るとともに、人材育成や担い手育成にも貢献している事が評価されたもの。

三月四日、札幌市の札幌クランドホテルで行なわれた表彰式には、白井社長を始め三農協からヘルパー利用組合長などが出席、ホクレン藤野貞雄会長から大賞の賞状と、副賞のブロンズ像、賞金百万円を受賞して来ました。

大賞を受けた白井社長は「農協と利用組合の協力、理解のもとこ



の事業を軌道に乗せることができました。今後も、根室管内の基幹産業である酪農に理解を深め、農休日という労働力の提供と共に、酪農に魅力を抱く若い担い手をサポートして行きたい」と話しています。

なお、同賞の農業者部門では、日高管内の平取町野菜生産振興会トマトキューリ部会(JA平取町)が大賞に選ばれ、研究普及部門については大賞の該当者はありませんでした。

北根室地区農業改良普及センター

フリーストールと多頭化

労働の課題

全ての産業の生産システムがそうであるように「現行のシステムの経営・労働・技術の課題が的確に把握され、その上で現状の課題を解決すべく新しい生産システムを再構築する」ことが、フリーストール体系でも必要です。

この点で現状の課題認識は非常に重要です。現状の

(一) 哺育、育成の問題は何か

(二) 乾乳牛の管理は十分なのか
(三) サイレージの収穫体系、品質は現状でいいのか

(四) 搾乳牛の管理、繁殖や栄養管理の問題は何か
(五) 経営の収益性に問題はないのか、

近年、酪農は生産物価格などの低迷により多頭化の傾向にあります。限られた労働力、例えば家族労働で多頭化を実現するために、フリーストール体系が選択されていると考えます。「一定の時間と労働で、より多くの牛を飼おうとしているのである。それも収益性を低下させずに」です。

- フリーストールの本来特性
- (一) 人的な労働生産効率の改善
- (二) 乳牛面では、集約的かつ合理的管理による生産性の改善
- (三) 投資面での重装備化

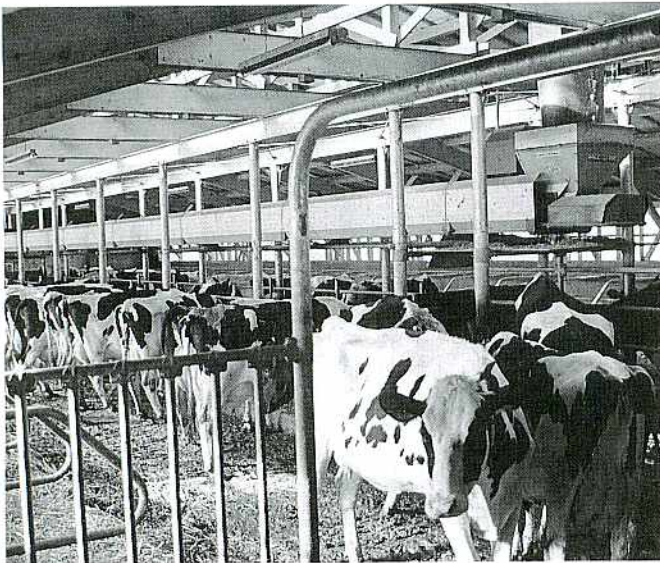
危険性があります。全ての技術・施設・機械がそうであるように、これらの本来特性、

利点を最大限に發揮させ、欠点を最小限に抑え込むことが肝要です。

これらの特性（利点・欠点）が設計・投資の全ての場面で検討される必要があります。

けてフリーストールそのものは「省労働・高所得」を約束するものではなく、これは期待される結果なのです。

○現状の経営、技術、



	所得率40% (4/10) の経営			所得率20% (2/10) の経営		
	粗収入	経営費	所得	粗収入	経営費	所得
現況	2,000	- 1,200	= 800	4,000	- 3,200	= 800
例えば、生産環境の悪化により粗収入が10%ダウン						
悪化後	1,800	- 1,200	= 600	3,600	- 3,200	= 400
	200のダウン (ダウン率25%・10/4)			400のダウン (ダウン率50%・10/5)		

地域に適した野菜は 野菜栽培技術 講習会を開催

野菜研究会(真野幸一会長)主催による野菜栽培技術講習会が、三月一日農協会議室において開催されました。当日は会員並びに野菜生産組合の奥様方三十数人が参加し、ホクレン技術普及課の吉本主任技師の「地域に適した野菜及び栽培技術」と題し、ホウレンソウ、大根、かぶ、白菜などの栽培技術、また、野菜の流通、市場の今後の見通しについての講演がありました。今回の講習会の目的は、当地域における第三の作物の育成という事で、今後更に試験研究をし、地域に適した野菜を生産し、販売努力をしていくつもりです。

野菜の流通、市場の見通しも学ぶ



講習に熱心に取り組む参加者

あるとすれば、それは何んで、原因は何か
これらの課題を検討し、新しい生産方式では、課題の幾つかが改善されないと、生産方式変更の意義は低いでしょう。

○薄利多売

現状の問題が解決されず、多頭化により収益性が悪化すると薄利多売傾向になりがちです。表は、それを模式化したものです。飼養

頭数、取扱高が大きいだけに、収益性が低下すると所得への影響は多大了。

現状の収益性や、飼養管理の問題点を点検しておきましょう。

○多頭化と労働問題

現状でも多頭化により、労働過重が問題とされています。このため技術の精度の停滞、合理化の限界、粗放化の進行が一部散見されます。「やりたくても、解かっ

ても、大変で実行できない」という状況は、労働問題との関連が大きいのです。

このため、フリーストールによる多頭化を検討する場合、「労働効率の改善、合理的な省力化」を最優先に検討すべきです。

○乳牛とフリーストール

実際の牛舎設計において重要なことは以下の事です。

(一)いかに、ゆつくりストールで休

める設計、サイズにするか！

(二)いかに自由採食させるか！

(三)牛舎環境を、いかに快適にするか(換気、温度、湿度など)

(四)いかに効率的な作業体系に設計するか(群分け、給飼、除ふん、

乳牛の移動・繁殖管理など)

(五)いかに低コスト化するか！

平成8年度

畜産物価格関連対策

乳価75円75銭で据え置き

政府は平成8年度の加工原料乳保証価格や関連対策を、三月二十八日に決定いたしました。

乳価については、当初生産費の低下を理由に引き下げる意向でしたが、平成十七年度を目標とした酪肉近代化計画の初年度に当たることを念頭に置いて、焦点となっ

(1)生乳需給安定対策（約五十六億円）

生クリームなどの生産振興を図り、酪農経営の安定に資するため、国産生クリームなど向け生乳の需要拡大のための助成を行なう。また、国産ナチュラルチーズの生産振興を図るため、生産性の高い生

などの生産者などへの普及、啓蒙を行なうとともに、先進的な畜産経営技術などの普及などを図る。

②酪肉基本方針において明確にされた、生産性が高くゆとりある酪農経営の実現を図るため、生産者の取り組みを推進するための特別対策を実施する。

*2円の特別対策 生クリーム生産振興対策も継続

ていた*2円の特別対策を、酪農経営活性化特別対策に変更して継続。生クリーム生産振興対策も継続するなど据え置きとなりました。

【酪農関係】

一、生産、経営対策

産者に対するチーズ原料乳の生産拡大奨励などの措置を講じるとともに、国産ナチュラルチーズの新製品開発及び知識の普及のための助成を行なう。さらに、飲用向け生乳の流通の適正化を推進する。

④大家畜経営の体質強化及び後継者の経営継承の円滑化を図るため、既往借入金への借り換えに必要な長期低利資金の融通などの措置を講じる。

①新たに策定された酪肉基本方針

②酪農経営安定対策（約百二十八億円）

JA貯金
からのお知らせ
新オンライン
システムが稼働

5月7日から



平素からJA中標津に格別のお引立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日頃皆様にご利用いただいておりますJA貯金では、五月七日(火)から皆様へのより一層のサービス向上をめざして、高い信頼性と安全性を備えた新オンラインシステムが稼働することとなりました。

これに伴いまして、次のことについて皆様のご協力をお願い申し

⑤酪農経営と生乳需給の安定を図るため、後継牛と交雑種の生産状況、生産者の生産意向などを把握するための調査を行なうとともに、雌雄の産み分け技術の開発を推進する。また、初生牛の自家哺育、育成、経産牛肥育など乳肉複合経営を推進するための奨励措置を講じる。

(3)畜産環境保全対策(約十一億円)
畜産経営の環境整備を図るため、ふん尿処理装置のリース料に対する助成を行なうとともに、民間における先進的な家畜ふん尿処理技術の開発に対する支援を実施する。また、酪農経営の環境改善を図るため、住宅、畜舎、草地の適正配置に関する調査・検討を行なう。さらに、畜産廃棄物の円滑な処理を推進するための、家畜死体冷却保管施設の整備、化製製品保管施設の整備、不可食物などの堆肥化施設の整備などの助成措置を講じる。

(4)酪農の生産コストの低減を図るため、畜舎などに係る建築基準のあり方についての検討、配合飼料価格安定制度の適切な運営、配合飼料についての混入規制の緩和を行なうとともに、中山間地域にお

ける低投入型畜産の振興のための措置を講じる。

(5)酪農経営体育成強化対策(約八十二億円)
生乳生産の大宗を育成すべき酪農経営に早急に集約し、生産構造を改善するための酪農経営体育成強化緊急対策事業を適切に実施する。

二、加工・流通・消費対策
(1)牛乳乳製品消費拡大対策(約四十九億円)
①牛乳乳製品の一層の消費拡大を図るため、牛乳乳製品の消費動向調査、牛乳乳製品と健康に関する正しい知識の普及、需要増進を目指す牛乳乳製品フェア・料理講習会の開催、幼稚園などでの牛乳の集団飲用の促進などを一体的に実施する。

②生産者団体及び乳業団体が、緊急に実施するテレビなどの宣伝力を活用した牛乳の全国的な普及宣伝、飲用牛乳販売促進のための特別キャンペーンなどに対する助成を行なう。

③牛乳飲用習慣の定着などを図るため、学校給食への良質な牛乳の計画的な供給に対し、奨励措置を

講じる。

(2)乳業再編整備及び生乳需給調整強化対策(約四十四億円)
酪肉基本方針に即し、乳業の集約化による効率的な乳業施設の整備などを推進する乳業再編整備など対策事業を適切に実施する。

平成8年度 加工原料乳保証価格等総括表

		7 年 度	8 年 度
保証 価 格		75.75円/kg	75.75円/kg
基準 取 引 価 格		64.26円/kg	64.26円/kg
限 度 数 量		230万ト	230万ト
安定指標価格	バ タ ー	993円/kg	993円/kg
	脱 脂 粉 乳	12,841円/25kg	12,841円/25kg
	全脂加糖れん乳	8,055円/24.5kg	8,055円/24.5kg
	脱脂加糖れん乳	7,193円/25.5kg	7,193円/25.5kg

上げます。

○現在ご利用いただいておりますすべての貯金通帳は使用できなくなり、五月七日以降、通帳とお届けの印鑑をご持参のうえ、当店窓口において新通帳に切り替えていただくようお願いいたします。

○お手持ちの貯金通帳に未記帳取引がある場合は、お早めにご記帳下さるようお願いいたします。

○五月七日以降に継続を迎える自動継続扱いの定期貯金は、継続時に新証書に変更いたしますので、証書をご持参のうえ、当店窓口において新証書に切り替えていただくようお願いいたします。

○お手持ちのキャッシュカード、カードローンカードは、引き続きご使用になれます。

○現在、当JAで取り扱っております貯金商品の内容が一部変更になります。

以上につきまして、ご不明な点がありましたらお手数でも当店にご照会くださいますようお願い申し上げます。

JA中標津金融係
TEL2-3275代

⑦
ファイト&トライ

輝く女性

拓 農
熊倉純子さん

昭和36年11月12日、浜中町茶内で生まれる。

茶内中学校卒業後、茶内診療所に3年間勤めた後、家業である酪農業を手伝い、20歳で結婚し中標津へ。

現在、乳牛約50頭を飼養する酪農専業農家。父、母、3男1女とご主人の8人家族。



いつでも「前向き」が大切

フレッシュユミセスの部長を経験し、昨年度は、婦人部の監事としても活躍した熊倉さん。

「忙しかったけど、役を持って貴重な体験をし、色々勉強になった」といいます。

フレッシュユミセスというと、仕事に子育てと大変な時期に婦人部の役を持ち、とても忙しかったようですが「あまり大変だと思っていないの」と明るく笑います。

本人いわく、「あまり考えこまないタイプだから」と言いますが、色々な面において、前向きな姿勢で取り組む事を大切にしていくようです。

三男一女のお母さんとしても、まだまだ忙しい毎日ですが、いつも笑顔の純子さん。結婚してから今までは、とても早かったと言いますが、大変さをあまり感じずにやってこれたのは、やはり「家族の協力」があったからと言います。

仕事の面でも、「搾乳頭数を増やせるよう頑張りたい」と、積極的に経営に取り



婦人部活動と仕事にはりきる熊倉さんです

くんでいるようです。また、花を育てる事が好きで、花だんづくりなど毎年行なっているそうで、今年は「道路端にキレイにコスモスを咲かせたい」とはりきっています。

現在、熊倉さんの地区のフレッシュユミセスは、ボウリングや講習会などを開き、仲間と楽しみ、地域の中のかながりを大切に行っているようです。

「今度は、婦人部の旅行に参加してみたいな」と楽しみにしている熊倉さんです。

展望は、夢と現実のぶつかり合い

桜前線の北上と共に年度初めの四月が巡ってきました。

新入生、新入社員、新年度など新しい出発（たびたち）の始まりです。そして、春は夢翔たく季節でもあります。

過日、酪農ヘルパー組織である「ファム・エイ」が、ホクレン「夢大賞」の農業応援部門で見事大賞を授与されました。

夢大賞は北海道の農業、農村の担い手に夢と希望をあたえる活動や研究に贈られるものです。

ファム・エイの活動は、三部門の一つである応援部門としての授賞であり、その主な理由は、酪農経営における農休日活用の推進のみならず、新規就農、担い手育成にも寄与したことです。

年中無休であった酪農家の日常に休日をもたらせてくれたファム・エイの努力に、お礼と授賞のお祝いを申し上げます。

ヘルパー事業を振り返ってみますと、設立当初は組合員の理解と

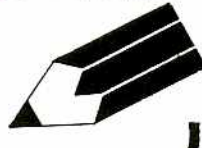
利用の定着が大きき目標でした。

会員の確保、定期的利用の推進、ヘルパー要員の技術の向上、行政、農協の支援の申請など、数多くの課題が山積していました。しかし、週休二日制、労働時間の短縮など

●今月のたより…… 組合長日誌

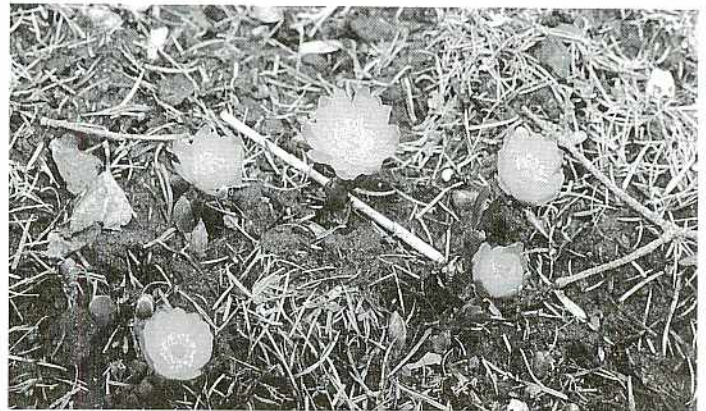
代表理事組合長

三友 盛行



社会の変化もあり、国の支援対策、町と農協による基金の造成が行なわれました。

行政、農協組織、事業者の三者の十分な基本認識と姿勢がある中で、夕、朝の二人制による完全へ



ルパーを基本として、頭数制でなく全戸一律料金の導入という、画期的な体系の中で今日の発展を迎えています。

ヘルパー制度は女性に、子供達に限りない夢と現実を与えてくれました。今では二人から四人に増員されたにもかかわらず、三ヵ月先まで予約で一杯になってしまっています。うれしい気持ちで今昔の感をかみしめています。

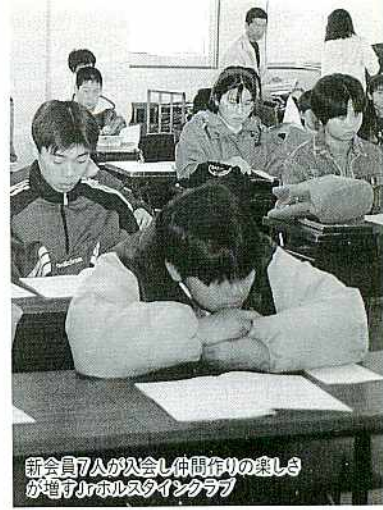
これも町、農協、利用組合、ファム・エイ、青年ヘルパーなどの多くの関係機関の皆様方の努力の賜です、改めて感謝とお礼を申し上げます。

夢に関連して思うのですが、夢という言葉置き換えてみますと、希望、願望、理想、幻、ビジョンが思い浮びます。一方では夢に反する言葉に、現実、実際などがあります。人は年齢の多少にかかわらず、皆夢を描き、その実現のため準備、努力を致します。しかし一方では現実という大きな壁が立ちほだかります。

夢は決して全てが実現するものではありませんが、夢を抱くことは生きるエネルギーの源です。

夢と現実のぶつかり合いが新しい展望と時代を作り出します。

自分自身の中、家庭、経営、組織、社会の中にそれぞれ夢を持ちましょう。夢だけでは現実が変わらないかも知れませんが、夢があれば前進もあります。戦後の開拓から、今日の繁栄を見る時、先人の夢みた農業が、今現実に行なわれているのですから。



サマースクールや収穫祭など多彩な事業を計画

第七回中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会及び第十一回スプリングスクールが三月二十六日、農協大会議室で、ジュニア会員十二人、父母十五人及び関係機関の出席により開催されました。

新会員7人が仲間入り 第7回Jrホルスタインクラブ定期総会

第11回 スプリングスクール開催



総会に先立ち、新年度から新しくジュニア会員の仲間入りをする七人に、新入会員認定証の授与式が行なわれ、新しい仲間と共に出席者全員による誓いの言葉が朗唱されました。

続いて、会員リーダーの広瀬寿樹君、運営委員長の佐々木昭雄氏から平成七年度の活動を振り返り開会のあいさつが行なわれ、さらに、J・A中標津渡部部長から「乳製品の大切さ、友達づくり、情報交換の場を大切に!!」と将来に期待を込めたあいさつをいただきました。

総会議事については別室にて審議され、全議案原案通り承認されました。

今年度の主な活動は、審査講習会（四月十四日）、管内合同サマースクール（八月下旬）、川崎市児童交流会受入れ協力（八月下旬）、全道ホルスタイン共進会への参加（九

月十四日～十五日）、ジュニア秋の収穫祭（十月上旬）、ウインタースクール（二月上旬）など多彩な事業が計画されています。

父母の議事審議中ジュニア会員は、第十一回スプリングスクールを実施し、昨年の全道共進会ジュニア特別クラスのビデオ観賞、八年度の活動内容の確認、酪農講座（乳牛の消化）、新リーダーの改選が行なわれ、午後からは親睦ボーリングで交流を広げました。

なお、平成八年度役員については次の通り決定いたしました。

○運営委員長 佐々木昭雄
○副運営委員長（委員長代行）

広瀬 清寿
○平成八年度リーダー

太田 寛
" サブリーダー

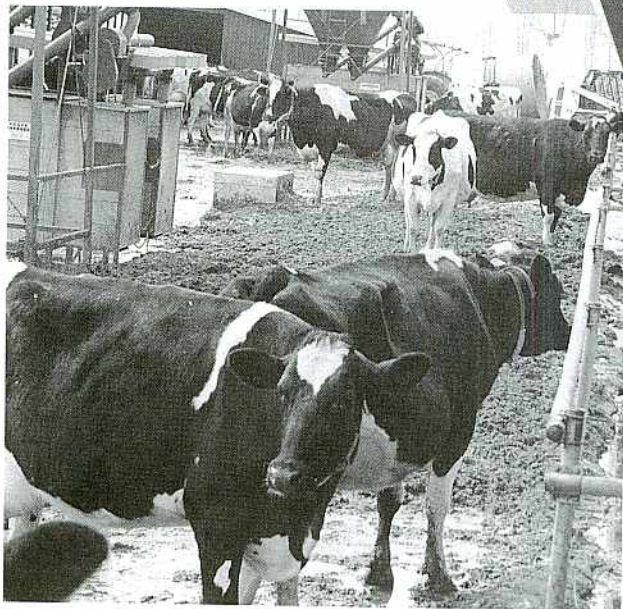
篠永さゆり
○地区リーダー下山 健一

筒井 豊彦
藤井 彩美

★ジュニア新入会員募集!!

加入希望者はJ・A中標津事務局（家畜改良課・新井）まで連絡下さい。

牛の ブルセラ病、 結核病検査



「牛のブルセラ病」とは

本病はブルセラ菌による人獣共通伝染病の一つです。雌牛に感染し流産などの大きな損害を与えるばかりでなく、乳汁中へ排菌するため公衆衛生上も重要な疾病です。

管内においては定期検査を繰り返して実施することにより、清浄化を維持していますが、平成七年に岐阜県におい

検査の対象は、生後90日齢以上の乳用牛全頭

県で九戸十頭と減少傾向にあります。しかしながら、ひとたび本病が侵入すると、汚染は牛群に急速に広まり、甚大な経済的損失を招き、その根絶は容易でないのみならず、人への感染の危険があるのに注意を怠ることは出来ません。検査は尾根部にツベルクリン注射をして実施します。

以上の疾病は法定伝染病に指定されており、家畜伝染病予防法第六条の規定に基づいて、本年も引き続き定期検査を実施し、発生予防に努めますのでよろしく協力願います。また、検査申請書には名

て一戸一頭の発生がありました。検査は、尾根部より採血した血液を用いて実施します。「牛結核病」とは

本病は牛型結核菌による病気で、重要な人獣共通伝染病として占うから知られています。

管内においては定期検査の繰り返しにより、昭和五十八年以降発生はありません。また、平成七年の発生は、一道五

号、生年月日などの記入漏れのないう配慮願います。

「牛をヨ一ネ病から守りましょう」

最近、ヨ一ネ病という病気の話しを聞く機会が多くなったと、感じられている方は多いと思います。

平成七年の発生は、全国で八十五戸二百五十七頭、北海道で六十戸百八十七頭でした。

管内では、昭和五十五年の初発以来二百頭を超える発生があり、増加傾向にあります。

本病は、法定伝染病の一つで、慢性頑固な下痢を主徴とする疾病です。特に妊娠中、分娩後に下痢をはじめたら注意が必要です。下痢便は水様性で悪臭などはありません。また、ひとたび発生すると潜在化し、清浄化には長期間の努力が必要となります。さらに、道内外の出荷牛に対する農場の非発生証明や、個体の陰性証明の要求が増大してきております。これらの要求に対応し、合せて新たな発生を未然に防止するため、種々の対策を家畜保健衛生所では実施しています。

理事会

の経過

第十二回理事会

開催日時 平成八年三月二十四日
開催場所 中標津町農協中会議室

議案

- 一、平成七年度収支決算見込みと職員の期末手当について、原案通り決定しました。
- 二、役員報酬審議会の答申について、現行役員報酬に決定しました。
- 三、平成八年度収支計画(案)について、再協議する事となりました。
- 四、平成八年度事業計画骨子(案)について、原案通り決定しました。
- 五、就業規則の一部改正について、原案の通り決定しました。
- 六、信用事業方法書の一部改正について、原案通り決定しました。
- 七、各課車輛リースの更新契約について、原案通り決定しました。
- 八、平成八年度澱粉工場施設整備計画について、原案通り決定しました。
- 九、平成八年度肉牛センターの施設修理計画について、給水器な

どの改修工事を決定しました。
十、肉用牛売却所得課税特別措置指定に係る取扱について、四月一日から肉用仔牛売却証明書発行手数料を一頭三百円に決定しました。

十一、肉牛センター農林漁業資金の繰上償還について、原案通り決定しました。
十二、農業開発公社牧場設置事業の実施について

実施者五件
事業費二億一千七百四万二千元
補助金九千八百一十二万三千元
以上、原案通り決定しました。
十三、制度資金の借入申込について、全件原案通り決定しました。
十四、各種補助事業の計画について、原案通り決定しました。

協議事項

- 一、中央会監査の改善事項について。
- 二、スラリーローリーの導入について。
- 三、汚染原料乳の損害賠償保険について。

報告事項

- 一、農協信用事業相援制度の改正について
- 二、給油所POSの設置について
- 三、生乳生産状況について
- 四、農業所得税申告状況について

五、乳牛飼養頭数二月一日調査結果について
六、酪農ヘルパー利用状況について

新職員紹介

平成八年四月一日発令より、新採用職員をご紹介します。皆様よろしくお願ひします。

七、平成八年度職員採用について
八、各連合会臨時総会の経過について



相澤朋香 (准職員) 店舗係



福嶋美佳 (准職員) 管理電算係



進藤宏陽 (管理部付)



佐藤裕美 (准職員) 給油所係



佐藤信恵 (准職員) 店舗係

人事異動

- 退職
奥田富子 (三月三十一日発令)
異動
行田洋子 (四月一日発令)
生産部畜産販売課乳牛消流係、肉牛消流係兼務

暮らしの

知恵森



北根室地区農業改良普及センター

雪融けもすすみ、我が家の広い庭先に、春の草花がいろどりを添えてくれるのが待ち遠しい季節となりました。

家や畜舎の周辺に花壇を作り、きちんと管理されている農村の環境は、住む人だけでなく道路を通る人や、地域を訪れた人達の目を楽ませてくれます。

◎花壇作りの基本

花壇といえば、公園や公共広場などの専門家が作ったものを思い浮かべる人が多いのですが、形とか草花の種類などワクにとらわれる必要はありません。手間をかけ

ずにどうすれば美しくできるか、そのための形、花の種類を考えてみましょう。

◎花壇に向く花

育苗期間が短かく、長期間咲き続ける一年草の草花が最適です。株を長もちさせるには、こまめに花がらを摘んで結実させないようにしましょう。

◎花壇の様式

①もよう花壇

一年生草花を主体に色分けして植え込む花壇で、ジュウタンを敷きつめた状態にみえるので、毛せん花壇ともいわれています。

草花と色の組み合わせ例

	花名	色		花名	色	
夏	①ペゴニア・センパフローレンス	赤、桃、白	冬	ハボタン	赤、桃、白	
	②サルビア・ドレスパレード	赤、紫、桃、白		①バンジー	②クリサンセマム・ムルチコーレ クリサンセマム・ノースポール デージー	黄、青、白 黄、黄、白 赤 赤、紫、桃、白
	③ハナスベリヒユ・マツバボタン	赤、桃、橙、白、黄				
	④バーベナ・テネラ	赤、紫、桃、白				
秋	①テランセラ	赤、黄、白	春			
	②フレンチマリーゴールド	赤、橙、青、赤				
	アグラタム サルビア	赤、黄、白				

年中美しさを保つためには年数回、季節の花によって植えかえられることもあります。

また表の道路から玄関までのアプローチなどに設けられる花壇を縁どり花壇といいますが、一種類の草花、単色だけでも玄関先を明るく、美しくできます。

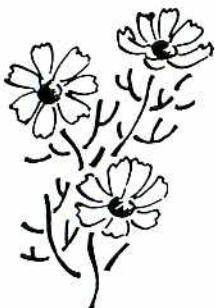
◎寄せ植え花壇

広場や庭の中央部など、周囲から眺められる場所につくる花壇で中央に草丈の高い草花と、周辺部になるにしたがって低い草花を植えていきます。立体的でカラフルな配分になるよう設計しましょう。

◎境栽花壇

建物や塀の前面に設けて、やわらかな感じをあたえる花壇で、ながめる前面に低い花を、後側に高い花を植え、草花をひな壇のように植え込みます。

宿根草、球根、一年草など花期の違う手間のかからない種類を選びます。



農家チーズを作る会



有名チーズの説明をする栢氏

チーズを通して農村文化を楽しむ

農家チーズを作る会（三友由美子代表）によるチーズ勉強会が三月六日、雪印乳業中標津工場研修室で開催され、世界の有名チーズの歴史や作り方を学びました。

このチーズの会は、「農村だからこそ出来る文化、豊かさを発見しよう」と有志が集い同会となったもので、現在中標津、別海、根室、浜中、津別などの酪農家約三十人ほどが会員となり、農家チーズ通信などを発行し、チーズ作りを通して情報交換を行なっています。六日に行なわ

れた勉強会では、世界の有名チーズの歴史をビデオ鑑賞したあと、同雪印工場長の栢英彦氏を講師にチーズの定義、作り方、種類と特徴などの講演を受け熱心に勉強。栢氏は海外での研修で体験した事例も交え説明し、「チーズは牛乳の漬け物。風土がちがえば味はちがいます。その風土のちがいがから食文化が生まれる」と話しました。

講演後は、ドイツ、イタリア、フランス、オーストラリアなど世界各国のチーズの試食が行なわれました。

一年間の思い出を振り返る

三月十二日に、マルエー温泉で平成七年度婦人部役員を対象



有意義だった一年を振り返って、楽しく行なわれた反省会

婦人部役員 反省会

とした反省会が開かれました。今年一年、婦人部活動を支え、活発に進めてきた役員の方々の慰労と、今年の反省点をもとに来年度に向けての一人ひとりの意見を、との事で計画されました。

平成七年度も活発に活動を進めてきた婦人部ですが、三役、支部長とも「忙しい中でも、部員間の交流が図れ楽しかった」「色々な経験ができて本当に良かった」など役員として有意義であった一年間を楽しく振り返りました。

「もっとたくさんの方が、婦人部の活動を楽しんでほしい」とのこと、来年度もアイデアあふれる活動を展開していこうと話しあわれました。



作品作りに熱中、完成が楽しみです

フ オ ト ア ス レ ズ ム

キレイなひな人形ができました 婦人部 和紙工芸教室

3月1日、農協中会議室で和紙工芸教室を開催しました。

今回は、ひな祭りが近いという事で、「和紙のあとり絵」で、ひな人形がデザインされたものに挑戦しました。

参加のみなさんは、始めはとまどい気味でとりかかりましたが、コツをつかむと、上手に和紙をはりつけ、除々に絵柄が見えるようになって、完成が楽しみな様子でした。

楽しく会話をしながら、また、アドバイスしあったりと、ゆつくりと作品づくりを楽しみました。



流れ作業で行なわれるポット作り

手際良くポット作り てん菜育苗プラント稼働

5月上旬に農家の畑に植えられる、てん菜のポット苗作りが3月13日から、農協てん菜育苗センターで始まりました。

今年のてん菜作付面積は、約200ヘクタールで2週間の操業期間中、約1万1,500冊のポット苗が作られました。

プラント作業場では、朝早くからコンベヤーや土入れコンボがふる稼働、ガタガタバンバンと機械音の響く中、手際良くポットが作られ、トラックに積まれて耕作者のビニールハウスへと運ばれて行きました。今ごろハウスの中では、ポットから緑色の芽が顔を出している事でしょう。



種子入れ作業は慎重です



全員が真剣に取り組みました

手作りソーセージに挑戦 青年部 消費拡大委員会

農協青年部消費拡大委員会によるソーセージ作り研修が3月13日、中標津町畜産食品加工研修センターで開催され、同委員や一般部員8人が手作りソーセージに挑戦しました。

作成に当り研修センターの熊谷氏から、手順や作成のコツを教わり作成開始。ミンチした肉の腸詰めには悪戦苦闘しながらも、約2時間ほどでソーセージを薫製室へ入れ、午後にはこぼしい香りの手作りソーセージが完成。

パリッとする音と、グーの味に参加者全員満足でした。



一番むずかしかった肉詰め作業



現在、使用中の種雄牛など改良方針を勉強しました

青年ヘルパー視察研修 酪農ヘルパー 利用組合

酪農ヘルパー事業で緊急対応などに稼働する、組合員後継者の青年ヘルパー視察研修が3月21日～23日、札幌市を中心に行なわれました。研修先は、昨年9月に設立された北海道農業担い手育成センターと、八紘学園札幌牛舎の2カ所。

担い手育成センターでは、新規就農者に対する支援貸付事業、人材育成の取り組み内容などの講演を受け、八紘学園では、牛舎内につながれた牛群を見学すると共に、学園における乳牛改良の方針などを勉強して来ました。



担い手センター中澤次長から説明を受ける参加者

3月の 組合日誌

- 1日 農業所得税申告作業
(12日まで)
- 〃 婦人部和紙工芸教室
- 〃 地区別懇談会(中標津)
- 〃 野菜栽培技術講習会
- 3日 地区別懇談会(第2俣落)
- 6日 第8回役員協議会
- 8日 婦人部支部長会議
- 〃 青年部幹事会
- 〃 乳牛改良同志会役員会
- 13日 ジュニアホルスタインクラ
ブ運営委員会
- 15日 熟年会役員会
- 16日 第8回管理購買委員会
- 18日 第9回生産委員会
- 19日 第7回営農委員会
- 21日 役員報酬審議会
- 25日 酪農ヘルパー利用組合役員会
- 26日 ジュニアホルスタインクラ
ブ定期総会
- 30日 棚卸監査

第49回 通常総会のお知らせ

組合に結集し、
協同の力を発揮しましょう

第49回中標津町農業協同組合通常総会が、平成8年4月30日(火)、中標津町「寿宴」を会場に午前9時から受付、午前10時開会いたします。

春の農作業など忙しい毎日の事とは存じますが、組合員皆様の出席をお待ち申し上げます。

「うるおい」や「やすらぎ」 を与える自然景観



基調講演を行なう上田氏

第3回 景観フォーラム

美しく、快適な
町づくりを考える

美しく、快適で、親しみやすい町づくりを考える「なかしべつ景観フォーラム」(町、根室支庁主催)が3月19日、町総合文化会館で開かれ、若者からお年寄りまで約200人の町民が参加しました。

フォーラムでは、釧路土木現業所中標津出張所長の上田満氏が「なかしべつとの出会い」と題して基調講演。住民参加の川作りや地域のクリーン作戦(ゴミ捨てや川掃除)など、中標津での3年間の景観作りを振り返りました。

引続きパネルディスカッションに移り、道景観アドバイザーの矢島健氏をコーディネーターに、山本則康氏(コスモスの里3300の会設計部会長)、安田稔氏(当幌酪農家、ファームアドバイザー)、福井あつ子氏(北根室農業改良普及センター)、水戸部謙一氏(道建築士会中標津支部まちづくり委員会委員長)の4氏をパネリストに、「なかしべつの景観と人づくり」をテーマに行なわれました。

各パネラーは、「コスモスの里3300の会、ラブリバーC L L標津川&タワラマップの会の夢のあるふる里づくり」「当幌地区での農村景観、環境美化運動の取り組み」「普及現場での、将来構想を描いたイメージイラストや環境改善共励会の取り組み」「ドイツ、イギリスを訪れて感じた、中標津との差」など景観に対する取り組みや町民としてできること、行政の役割などが報告されました。



4人のパネラーにより、それぞれの報告、提言が出されました